

第6学年 社会科学習指導略案

日 時 令和4年2月30日(月)
 児 童 男子 6名 女子 4名 計 10名
 授業者 中屋敷 茜

1 単元名 「地球規模の課題の解決と国際協力」

2 指導にあたって

第5学年の家庭科「持続可能な暮らしへ物やお金の使い方」において、消費者の物の選び方、買い方が、地球を守ることにつながることを学習した。第6学年の国語科「世界に目を向けて意見文を書こう」において、フェアトレードに関する情報を収集し、フェアトレードについて自分の考えを深める学習を行った。

これらの持続可能な社会に向けて学習してきたことを、今単元において統合したり、深化したりしたい。そのために、国際連合の「持続可能な開発目標」(SDGs)に示された17項目の⑫を取り上げ、消費者としての立場から世界の人々とともに生きていく上で自分が実践したいことを考えさせていく。

3 本時の指導(6/8時間)

(1) 本時の目標

国際連合の「持続可能な開発目標」(SDGs)に示された17項目の⑫を理解し、消費者としての立場から協力できることがあるのかを考える。

(2) 展開

段階	学習活動	教師の支援○と評価●
導入 7分	1 持続可能な社会に向けて学習してきたことをふりかえる ・環境や資源に配慮した買い物の仕方 ・児童労働やフェアトレードについて考えてきたこと 2 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 世界の問題を解決するために消費者としての立場からできることを考えよう。 </div>	○持続可能な社会に向けて学習してきたことをつなげる。
展開 20分	3 「持続可能な開発目標」(SDGs)に示された17項目の⑫を理解する。 4 具体的にどんな実践が世界の問題の解決につながっているのかを考える。 5 消費者としての立場から協力できることがないかを考える。 ・自分ができることを考える。 ・取り組みが世界の問題のどんなことへの解決につながるのかを考える。	○つかう責任